

乗馬センターの再開手順

ロサンゼルス公衆衛生局(公衆衛生局)は、一般市民、すべての企業主、およびコミュニティ組織に、企業と公共スペースの再開支援を呼びかけています。集団での「安全維持のための在宅命令」の取り組みを通じて、COVID-19の新規症例と入院患者数の減少に成功し、通常の生活の多くの側面で段階的再開を可能にしました。

この移行を支援するため、公衆衛生局はすべての乗馬センターの運営者復興計画に沿って再開のための計画を立てるにあたり適切な手順を踏むよう求めています。以下は従業員と利用者が乗馬センターにおけるリスクの拡大を減らすための重要点であり、対処を講じる必要があります。

- (1) 従業員と顧客の健康の保護およびサポート
- (2) 適切な物理的距離の確保
- (3) 適切な感染対策の確保
- (4) 市民とのコミュニケーション
- (5) サービスへの平等なアクセスの確保

上記重要点は以下のチェックリストに組み込まれており、乗馬センターの再開手順要件として実施が必要とされます。

乗馬センターは、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

乗馬センター名:	
所在地:	

A. 推奨される制限事項

- 最低 6 フィートの社会的距離を常に維持する。
- 駐車場や厩舎を含むがこれらに限定されない共有エリアにいる間、常に布製フェイスカバーを着用する。
- 物理的距離が保たれている限り、乗馬中にフェイスマスクは必要ない。
- 施設の運営者とスタッフは常にフェイスカバーと手袋を着用する。
- 乗り物(馬列)は、物理的距離を保ちながら、一列縦隊で、最大 4 名のライダーが一度に乗れる。
- 乗馬のプライベートレッスンは、適切な物理的距離を実践する場合に限り許可される。講師と生徒の両方がフェイスカバーを着用する。
- 集団レッスンは禁止する。

- 円形の馬場は常に最大で 2 名のライダーのみ。円形の馬場は物理的距離を保つのに十分広くなければならない。
- 馬洗場では一度に 1 頭の馬と 1 名のボーダーのみ。
- ドア、入り口、および/またはゲートは、通常の営業時間中は開放したままにしておく。
- 料金の支払いは、オンライン、およびまたは屋外に面した窓やドアを利用して行う。
- すべての従業員は、病気の場合、またはCOVID-19感染者に曝露した場合、出勤しないように指示される。従業員は、該当する場合、自己隔離と検疫に関する公衆衛生局のガイダンスに従わなければならないことを理解する。病気で自宅待機することによって従業員が罰せられることがないように、職場休暇ポリシーを見直し、修正する。
- 1 名以上の従業員が COVID-19 検査で陽性反応を示す、または症状を発症している報告を受けた場合、雇用主は、直ちに患者に自宅隔離を促し、その従業員に職場で曝露したすべての従業員に自己検疫を促す計画または手順を準備する。雇用主の計画では、COVID-19 管理対策の追加が必要となるような職場での曝露があったかどうかを判断するために、すべての検疫中の従業員に対して検査を実施する、または検査を手配する。
- 従業員が職場に入る前に症状の有無を確認する。症状確認は口頭で、咳、息切れまたは発熱、およびその他の自覚症状に関する報告が含まれる。これらの確認は、従業員の出勤時に直接、又は遠隔操作で行う。可能であれば職場での検温も行う。
- 勤務中に一般市民または他の従業員と接触するすべての従業員に、無料で布製のフェイスマスクを提供する。勤務中に他者と接触する、または接触する可能性のある従業員は常時フェイスマスクを着用する。個人オフィスや仕切られた作業スペースで勤務する従業員は、布製フェイスマスクを着用する必要はない。
- 従業員には、フェイスマスクを毎日洗濯するよう指示する。
- 従業員は、以下のような個人的予防措置を講じるように求められる。
 - 病気の場合は自宅待機する。回復後少なくとも 3 日間（72 時間）は自宅待機する。回復とは、解熱剤を使用しない状態で発熱が治まり、咳や息切れなどの呼吸器症状が改善した状態を指す、そして、最初に症状が発症してから少なくとも 10 日間。
 - 石鹸と水で少なくとも 20 秒間、頻繁に手を洗う。石鹸と水が利用できない場合は、アルコール濃度 60% 以上の手指アルコール消毒液を使用する。食事の前、トイレの使用後、咳やくしゃみをした後は手を洗う。
 - 咳やくしゃみはティッシュで覆い、ティッシュは捨ててすぐに手を洗淨する。ティッシュがない場合は、手ではなく肘で覆う。
 - 洗っていない手で口、目、鼻に触れない。
 - 病気の人との接触を避ける。
 - 電話やその他の端末などを共有しない。端末を共有する必要がある場合は、共有の前後に、必ず消毒剤のワイプで拭く。
 - 他のスタッフとの作業距離を常に観察する。身近での作業が要されるものを除

き、作業中は他者から最低6フィートの間隔を常に確保する。他者の近くまたは他者と一緒に作業するときは、布製フェイスカバーを着用する。

- ワークステーション、キーボード、電話、手すり、機械、共有端末、ドアノブなど、頻繁に触れる物や表面を定期的に消毒する。これを営業時間中は、1時間ごとに行う。

- 本手順のコピーをすべての従業員に配布する。

B. メンテナンスの手順

- グループでの集まりは禁止され、ベンチやテーブルは使用しないよう取り除く。
- 一般的によく使用されるアイテムは定期的に消毒する。
- 一般的によく使用される機器は、別の人が使用する前後に消毒する。
- トイレは定期的に消毒する。
- すべてのタック(馬具)は使用するたびに消毒する。
- 馬に乗る人は全員個人のウォッシュラック用品を使用し、ホースは定期的に消毒する。
- 水飲み場は、ウォーターボトルに限りで使用できる。

C. 監視手順

- 感染管理、社会的距離、フェイスカバーの着用に関する指示と情報の標識を施設全体に掲示する。
- 通常の営業時間中は、従業員(安全管理者)は利用者が物理的距離の手順を実践していることを確認することだけに専念し、頻繁に触れる部分を常に消毒する。
- 施設の運営者は制限が遵守されていることを監視する。
- これらの安全措置の遵守を拒否する利用者には、直ちに施設を離れるよう要求する。

企業は上記に含まれていない追加の対策について別のページに記載し、それを本文書類に添付してください。

本手順に関するご質問やご意見は、以下の者までご連絡ください。

乗馬センター 担当者名:		電話番号:	
最終更新日:			